2026/11/9

＜金標準、中間選挙の巻き戻しでオシレーターの好転・・＞



（出所：オアシス）

中間選挙では、予想通りに下院議会で民主党が過半数を確保し、上院議会では共和党の牙城であったテキサスで敗れ、上院議会も民主党が過半数を獲得するなど、従来の議会運営が一変する動きを見せている。そのためトランプ大統領が推し進める AI 事業など、来年 1 月から新体制に伴う民主党の AI 規制強化に市場は逃避の動きを強めるなど、ナスダックや S&P500、韓国株、台湾株など、半導体関連銘柄が尽く売られる動きを見せている。

しかし金標準先物は、選挙結果を受け一時 20023 円まで下値を試すもトランプ大統領が敗北を認めた事から選挙後の混乱リスクが後退し、巻き戻しの動きに 21496 円まで戻りを見せている。しかし雇用統計を受け、12 月の利上げ可能性が高まるなど、金利上昇に伴い戻りを抑えられている。ただゴールドマンサックスは 2026 年末の金価格の予想を 4650 ドルから 4150 ドルに引き下げるも、2027 年末は 4800 ドルと予想するなど、強気を維持しており、20000 円で下げ止まった金標準先物は戻り基調を強めて来ると思える。

＜テクニカル＞

金標準先物の日足の MACD では、MACD が上昇し、シグナルも切り上げている。RCI は短期の上昇し、長期は切り上げだしている。特に指数平滑移動平均線のレンジが縮小し、日足がレンジ離脱の可能性が高まっており、21000 円以下は買いの域と思える。

2026/11/9

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

〇商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 6,540,000 円（2026 年 11 月 9 日現在）です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。 〇商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 5 倍から 50 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。 〇商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 86,900 円（2026 年 11 月 9 日現在）です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社（商品先物取引業者）の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当（東京）電話 03-5540-8423 （受付時間：平日 8:30～17:30）
証券・金融商品あっせん相談センター https://www.finmac.or.jp 日本商品先物取引協会相談センター https://www.nisshokyo.or.jp